

平成23年度 みんなで教振 きずなキャラバン

～ 岩泉町立門小学校家庭教育学級 ～

教育振興運動と読み聞かせ講習会



岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課
主任社会教育主事 佐藤 敦士

自己紹介・・・

- 小1 学年PTA副会長
- 小2 学年PTA会長
- 小3 【息子の転校】
- 小4 (地域を知るために・・・地区自治会役員)
- 小5 学年PTA会長
- 小6 地区子ども会役員
- 中1
- 中2 学年PTA会長
- 中3 地区PTA副会長



そもそも、「教育振興運動」とは？

- ◇子ども・学校・家庭・地域・行政等が、**総ぐるみ**で、地域の**教育課題の解決に自主的に取り組む**岩手県独自の教育運動
- ◇昭和40年、**学力向上のための**取組（読書運動など）に始まる
- ◇以後、子どもを取り巻く諸問題に対応し、岩手県の教育環境の整備充実に大きな役割を果たす

「教育振興運動」の「運動」とは？

三省堂「例解 小学国語辞典」より

★「活動」とは？

⇒ 元気よく動いたり、働いたりすること

★「運動」とは？

⇒ 目的のために、人々に働きかけること

違いは・・・

- ① 自分が働く（自分がやる） ⇔ **人に働きかける**（みんなでやる）
- ② 行動する行為のこと ⇔ **目的**（～のために）が大切

「教育振興運動」の流れ

< 目的 >

子どもたちを取り巻く課題を解決するために

< 方法 >

みんな (子ども・親・学校・地域・行政) **で分担してやる**

① 最初にすべきこと

・・・「実態」の把握 と 「目的」の共有

今の「岩手県」の、そして「門小学校」の
子どもたちの実態は、どうでしょうか？

② 次にすべきこと・・・「分担」と「方法」の検討

「目的」を達成させるために、誰が、何をしますか？

- ⇒ 「子ども」が、すべきこと
- ⇒ 「親」が、すべきこと
- ⇒ 「学校」が、すべきこと
- ⇒ 「地域」が、すべきこと
- ⇒ 「行政」が、すべきこと

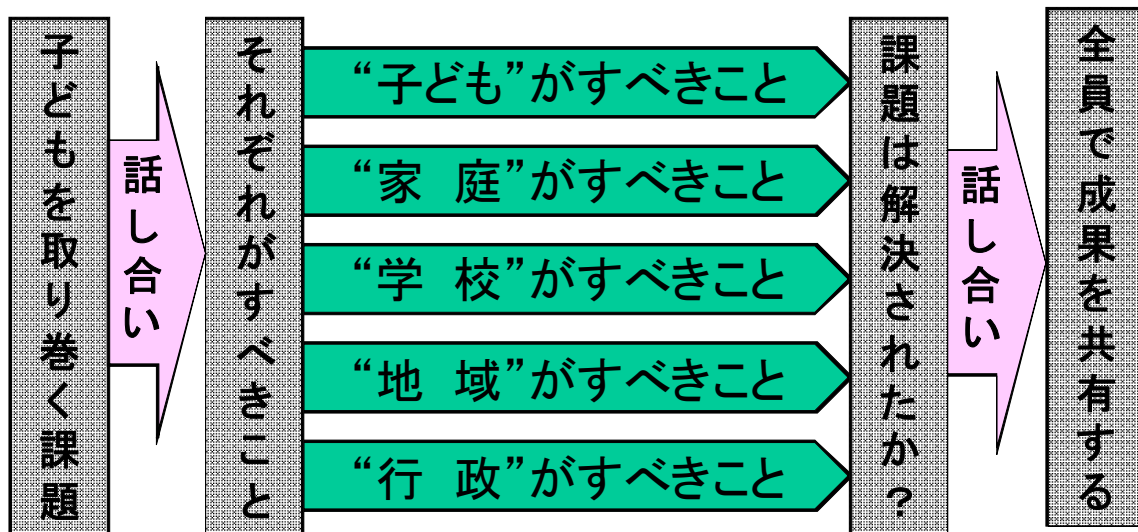
具体的に！

③ 3番目にすべきこと・・・みんなでやる(実践)

それぞれが、責任を持ってやる！

- ⇒それぞれが責任を持って行動する
- ⇒取組を定期的に評価して確認する

「みんなでやる」ということは？



子どものためという**ひとつの目的**に向け、**それぞれが**活動



最後にすべきこと・・・「成果」を実感する
「目的」を達成できたかどうか、を確認する

- ⇒ 子ども・親・学校・地域・行政の**取組を評価**する
- ⇒ 「目的」が達成され、課題が**改善されたかを評価**する
- ⇒ 「達成度（成果）」と「改善点（課題）」を**共有**する

岩手大学客員教授 高橋 寛 先生の名言！

**「教育振興運動は、子どもの課題を
みんなで、よってたかって、やっつけることよ！」**

「教育振興運動」に取り組むと・・・

課題に取り組むことで・・・

1 子ども(の生活)が変わる

↓ 大人が本気になることで・・・

2 大人(の意識)が変わる

↓ 地域の大人が協力することで・・・

3 地域が変わる・ひとつになる

評価の
3ポイント!

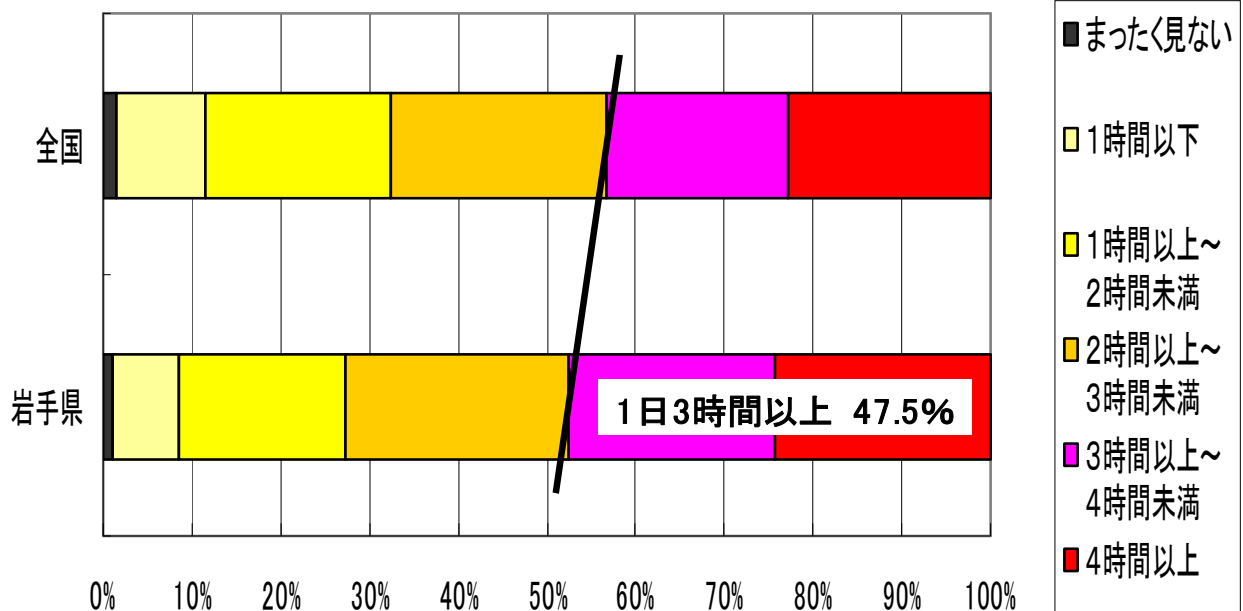
「楽しかった」ではなく、
「変わったか」・「改善されたか」を評価する。

門地区の子どもたちと、比べてみてください。

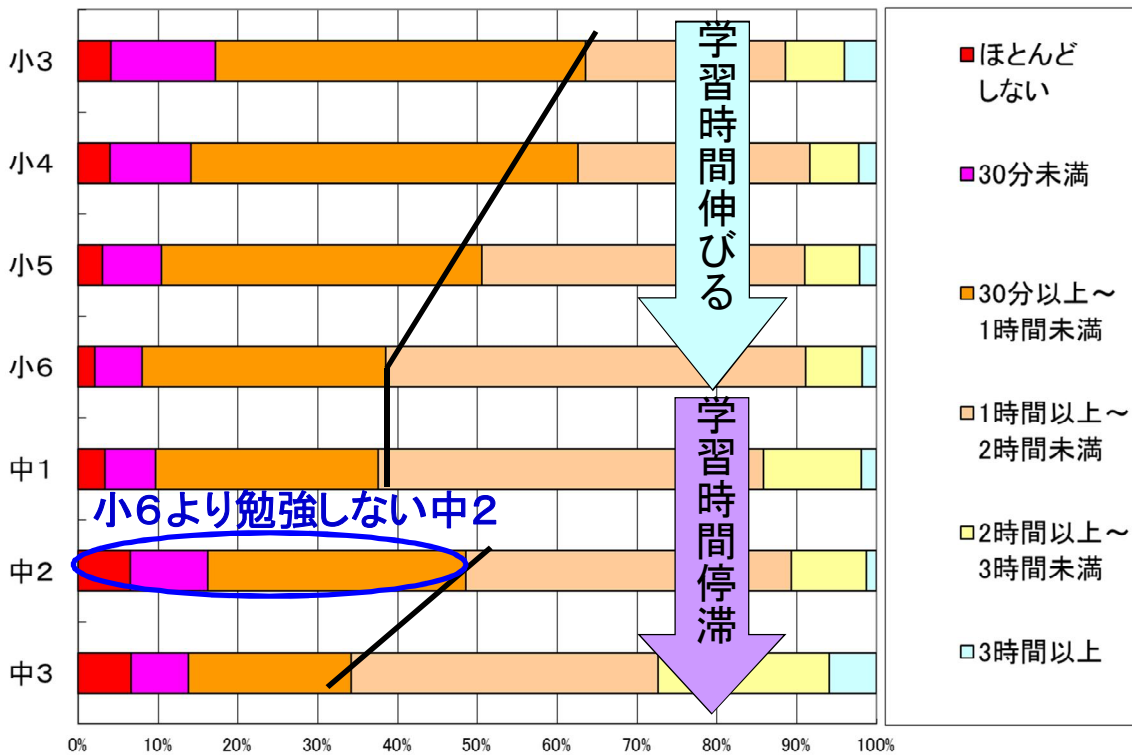
小学校6年生「1日あたりのテレビ・ビデオ・DVD視聴時間(平日)」

(テレビゲーム・インターネットの時間は除く)

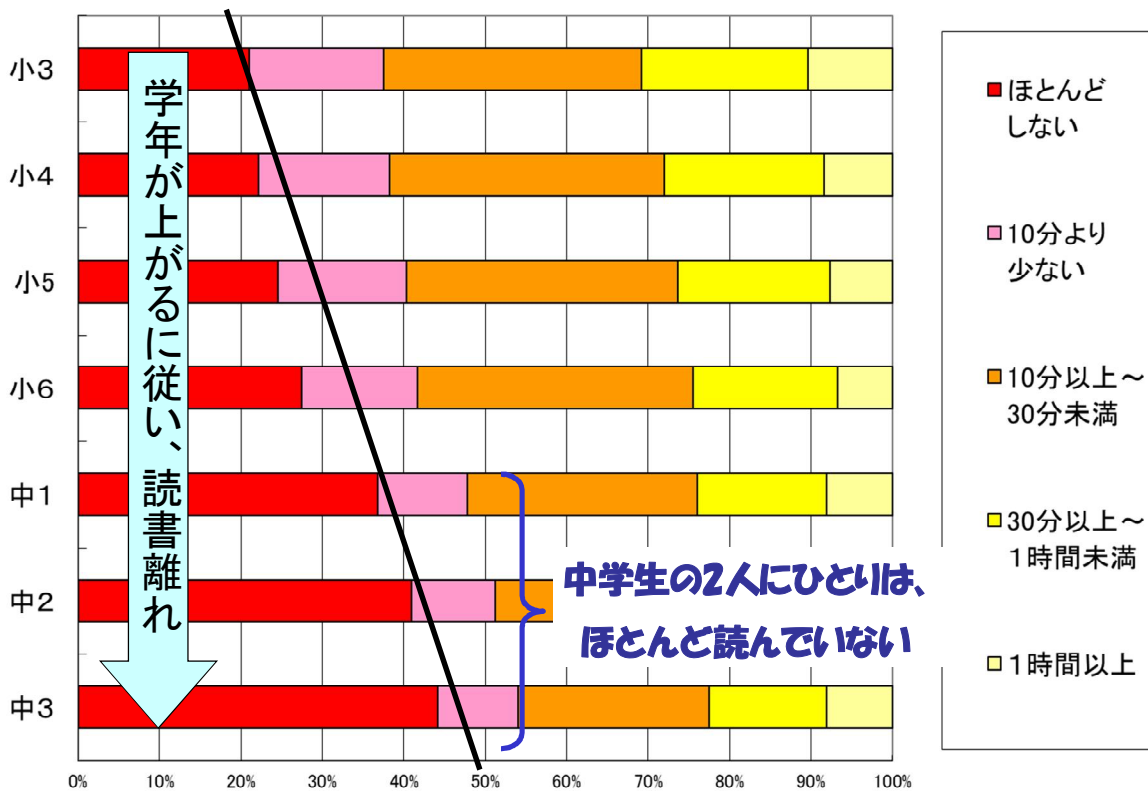
平成22年度全国学力・学習状況調査
【H22.4.実施】より



岩手県「学校の授業以外の1日あたりの学習時間(平日)」



岩手県「家や図書館における1日の読書時間(平日)」



岩手県の子どもたちの課題は・・・

岩手県の子どもたちは、

- ①家庭におけるテレビ・ビデオ・DVD等の**視聴時間が長い**。
- ②中学生の**家庭学習時間が短い**。
- ③学年が上がるにつれて、**読書離れの傾向がある**。



★教育振興運動「**全県共通課題(家庭学習・読書活動)**」の**奨励!**

★「**いわての中高生のためのおすすめ図書100選**」の
県内全中高生への配付!



「読書」が大切なのは?

国語・算数・理科・社会・・・

どの教科も「**テスト**」で定着を確認します。



テスト問題は、**文章で書かれ、文章で答えます**。



解くには、**文章を理解し、イメージする力**が必要です



文章を読み、書いてある内容を理解する力＝「**読書**」

「読書」は、学力の土台となるもの!

・・・読書習慣の定着が、学力向上につながります。

家庭・地域でできること ～「読書」の環境づくり～

1 いつでも、どこにでも「本」がある環境づくり

★「本棚」が、いろんな部屋にある。

…トイレでも、お風呂でも本を読める環境。

★TVのある部屋には、「辞書」と「地図帳」を置く。

…いつでも、本から調べることができる環境。

2 「本」を読むことが出来る環境づくり

★「本」を読む時は、テレビを消す。

…テレビを見たい時間、テレビを消す時間を

家族で話し合い、一緒に見る・一緒に読む。

★大人が「読書を楽しむ姿」を見せる。

3 「本」を読んであげる環境づくり

★地域の読書ボランティアとして、朝読書の時間に小学生に本を読んであげる。

…短時間で読める「絵本」や「ショートショート」

…感想は求めない。楽しむことを優先。

★小学生が、保育園児や高齢者に読んであげ、喜んでもらう体験をさせる。



「読書」によるふれあいが、心を安定と自尊感情を
培い、心を豊かにします！

子どもを「読書嫌い」にさせる“ひとこと”

1 「もう、自分で読めるんだから、 自分で読みなさい！」

・・・小学校3・4年生の頃、子どもの「読む力」を伸ばそうと、親心で突き放す。
子どもはふれあいを求め、安心感を得たいのです。

2 「どう思う？ そうかなあ？」

・・・「読書」を「国語」にしてしまう。
感想を求め、子どもの感じたこと否定し、親の考えを押しつける。

では、「宮古読み聞かせの会」あっちゃんの
“読み聞かせ”をお楽しみください。





小学校にもおじゃま
させていただきました。

10月18日 小本小学校での
ブックトーク(本の紹介)



「絵本は、人生に3度」

- ◇ 1度目は、子どもの時。
- ◇ 2度目は、親になった時。
- ◇ 3度目は、年老いた時。

…作家“柳田邦男”さんの言葉です。

皆さんも、絵本を手にしてみませんか？
子どもたちに、読んであげませんか？

何のため？ …自分が、楽しむために。